

平成 27 年 11 月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成 27 年 11 月 25 日(水) 午後 1 時 30 分		
場 所	市庁本館 3 階 議会第一委員会室		
教育委員職氏名	教育委員長	大 庭	文 武
	教育委員長職務代行者	武 輪	節 子
	教育委員	築 瀬	眞知雄
	教育委員	油 川	育 子
	教育長	伊 藤	博 章
事務局員職氏名	教育部長	佐 藤	浩 志
	教育部次長兼教育総務課長	野 田	祐 子
	図書館長	藤 田	俊 雄
	学校教育課長	小笠原	徹
	教育指導課長	木 村	一 夫
	社会教育課長	田 中	勉
	是川縄文館副館長	清 川	定 吉
	総合教育センター所長	原	寿
	博物館副館長	古 里	淳
	教育総務課参事	尾 崎	雅 祥
	学校教育課参事	茨 島	隆
	是川縄文館参事	宇 部	則 保
	東地区給食センター所長	中 里	親 弘
	北地区給食センター所長	外 館	一 良
	西地区給食センター所長	清 川	彦 一

開 会

(大庭教育委員長)

定刻となりましたので、平成27年10月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員さんを指定します。

それでは教育長から、主な会議・行事等について、説明をお願いします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

報 告 「自動車破損事故報告及び損害賠償金額の決定について」

(小笠原学校教育課長 資料に基づき説明)

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

参考までにお伺いしたいのですが、作業をしていた方のところから、その車が停まっていたところまでの距離というものはどれくらい離れていたのですか。

(学校教育課 大館副参事(経営支援グループリーダー) 兼管理主事兼指導主事)

学校教育課の大館と申します。学校の敷地にフェンスがありまして、そこから1メートルくらい離れたところで作業をしておりました。向うの車がフェンスぎりぎりに停めてありましたので、そのフェンス越しに当たったという状態になります。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

近いところでの作業だったということですね。

(大庭教育委員会委員長)

あとございますか。

(築瀬教育委員会委員)

前年度、昨年11月の定例会でも是川縄文館から熊野堂遺跡の発掘現場での駐車中のリアガラスの破損。碎石、敷いている石が飛んで破損したという報告がありました。その際、防止策として工事用のつい立てを設置するということが補足説明であったように記憶しています。それでいま小笠原課長から安全確保と安全対策、草刈りする方の本人を含めて、図っていくということがありました。何か具体的にこうするという事は別はないのですか。例えば今のようについ立てとか、そのような具体的なものはないのですか。

(小笠原学校教育課長)

市内全校統一してということではございませんが、いま委員からもお話がありましたので、そういう作

業をする際にはネットを張るとか、つい立てを立てるとか、そういう方法もあるということをこれからお話ししながら、各学校において万全を期していただくということで進めていきたいと思ひます。

(築瀬教育委員会委員)

わかりました。このような事故というものは、仕事を真面目に、一生懸命していたから起きたわけですね。一つは、やはりその本人がそういうことによって責められたような感じになって、仕事に消極的にならないようにしていただきたいということが一つなのです。

それともう一つは、今回は自動車、前回はそうでした。自動車の物品なのですが、結構この草刈りの際に人身事故というか、小石が当たったとか、そういうこともあるかと思うのです。幸い物品だったのでいいのですが、特に学校の場合には児童、それから周りの方々、住民とか通行人とかです。遺跡の発掘現場の場合は駐車場だったと思うのですけれども、今回の場合は敷地であるので、やはりそういったことにも十分注意をするような喚起というものは、こういった事例があった場合には細かいことではあるけれども、再度喚起するようにしていったほうがいいのではないかと思います。時期として、今の時期はほとんど刈払いも終わっている時期なのであるけれども、来年度に向けてでもいいですし、まだこれを続けるところもあると思うので、やはりちょっとした注意喚起が必要ではないか。例えば今のように、車がすぐ隣にある場合には、予想できるわけですね。もしかしたら飛んでいく。そういった場合には、例えば防げないかもしれないのですが、そういった場合には板を置くとか、そういったことも考えてくださいなど。極端に近い場合ですよ。飛んでポーンといった場合には防げないと思うのですが、ある程度そういったことも必要かと思ひて聞いていました。

もう一つは、やはり学校で草刈りをする場合には、子どもたちに十分注意するようなことも必要だ。案外こういうことは慣れていると、うっかり見過ごされがちのところもあると思うので、是非そういった配慮も。草刈り場による事故というものは、最近あまり聞いたことはないのですが、前は結構あったのです。今はもうナイロン刃など、いわゆる金属刃ではないナイロン刃のほうになって、そういう危険度はだんだん減っているのですけれども、そういったことも含めてこういった事案が発生した場合には、少し注意喚起が必要かと思ひてお話ししました。よろしくお願ひいたします。

(大庭教育委員会委員長)

あとよろしいでしょうか。

(油川教育委員会委員)

いま築瀬委員がおっしゃったように、再発防止策ということをも具体的な形で進められたらと思ひます。特に草刈り機は音大きいものですので、近くに子どもが来た場合に、その気配をほとんど感じることができませんので、そういったところ。今回は物品ということで幸いと考へまして、そういったところも具体的に進めていかれたらと思ひます。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

はい、ありがとうございます。今各委員から出ましたような防護対策といひますか、そのようなところを周知しながら、今後も安全な作業の徹底をしていただければと思ひております。

報 告 「白山台公民館における旭化成建材による杭工事のデータ流用について」

(田中社会教育課長 資料に基づき説明)

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

素人が聞いても解らないかもしれないのですが、先ほどいただいた資料にグラフも付いておりますので、これがどういう資料であるか、ご説明していただければと思いますのでお願いいたします。

(田中社会教育課長)

今4枚付けておりますけれども、左上に杭ナンバーが付いています。4と12と30は、提出された書類から見て、先ほども説明したように全く同じデータであります。左の四角で囲んだところの数値、積算電流ということですが、右のグラフを見ていただいても全く波形が同じです。これはどのように見るかという、まずは27メートルから29メートルの辺りで数値が大きくなっているのですが、これがだいたい支持基盤に届いたという辺りで、支持層の想定深度が赤線で引いている支持層想定深度33メートル。それから杭の先端の深度が35メートル弱です。34.69メートル。ですから、支持層まで到達しているというデータなのですが、それぞれ転記ミスのおかげで3本とも全く同じようなデータが出ております。通常であれば1メートルそばを掘っても、このように全く同じようなデータになることはあり得ないようなので、明らかに流用したのか、転記ミスだったのかということになるということです。波形の右に大きく出っ張っているところは支持層に届きましたという見方になるそうです。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

あとございませんか。ただ一点、3番の今後の対応のところでは正式な調査報告書の内容を確認後、市としての結論を出したいとありますが、これはいつぐらいになるかということの目途はいま全く立たないということですか。

(田中社会教育課長)

今の段階でいつということはまだ示されておられません。1枚目の資料のところにございますように杭データの確認もあるのですが、2番目の11月18日の2のところを書いております、コンクリートの注入量も問題になっている1つの項目です。この辺は私どもも何とも調査できないので、建築住宅課と相談して、報告書が出次第確認したいと思っております。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

今後も確認等よろしくお願いたします。

報 告 「平成27年度第5回八戸市図書館を使った調べる学習コンクールについて」

(藤田図書館長 資料に基づき説明)

(築瀬教育委員会委員)

今の藤田館長の説明で私が聞きたいことはわかりました。何で3倍になったのかと思っていたら、旭ヶ丘小学校のおかげだったということがわかりましたので、それは了解しました。それにしても数だけで一喜一憂するのは何事も良くないと思うのですが、やはり増えたということは喜ばしいことだと率直に思います。昨年も言いましたが、このような調べるとか、探求するという事は最近の授業でも、学習でも重視されているところですので、是非図書館でもこういう取り組みを頑張っていたいただきたいと思っています。

一つ把握していればお聞きしたいのは、いま優秀賞の弟さんのほうの、しょっぱくないところから始まったというのを聞いたのですが、昨年はこの吉野元君の作品の内容なども本人から直接聞く機会があって、図書館に行くことができおもしろかったのです。今年は機会を失ってしまったので、その内容はわからなくて、少しだけでいいので、最優秀賞の特徴はどんなところにあったのか把握していますでしょうか。

(藤田図書館長)

新聞等でも既に紹介されてはいるのですけれども、まず元君のほうです。元君はJAMSTEC、海洋研究開発機構の研究に応募して、それで賞をもらったそうです。それをきっかけに深海に興味を持って調査を始めた。そしてJAMSTECの研究者や水族館の担当者にわからないことを聞いて、まとめたということなのです。ですからもう図書館を抜け出して、実際その深海探査機を見たり、あるいはその担当者の方に話を聞いたりしながらまとめていっているということで、もうすごい研究成果になっています。

それで1年生の弟のほうは、やはり昨年お兄さんが3年生のときにそういう最優秀賞をとって、全国の観光庁長官賞もとったということで、よく兄弟でお母さんと一緒に図書館に行ったりして、自分も応募してみたいということで、お兄さんが関わった海ということで実際に自分もまとめてみたいということでまとめた結果になります。

(築瀬教育委員会委員)

はい、ありがとうございます。感想を一つだけ言うと、去年は「南部氏はぼくのヒーローだ」といういわゆる歴史ものだったのです。今回は深海ものというか、海に目が行っているということで、幅が広がっていてとても良いと思っていました。そういった観点で吉野君だけではなくて、どの子にもやはりいろんな観点を広げていくという取り組みが大事だと思って聞いていました。ありがとうございます。

(油川教育委員会委員)

先ほどこの目的をおっしゃったのですが、すいません、聞き漏らしてしまいましたので、もう一度おっしゃっていただきたいのです。あとはこのコンクールの周知の仕方をお聞きしたいと思います。

(藤田図書館長)

そもそもこの図書館を使った調べる学習コンクールの目的なのですが、公共図書館や学校図書館の資料を使って、身近な疑問や不思議に思うことなどを自由なテーマで調べ、夏休みに作品をまとめ、9月中に図書館に提出するものです。地元の地区で審査をしまして、その表彰を行い全国コンクールへ出品

するという段取りになります。最終結果については来年の1月に発表の予定であります。

それから周知の仕方につきましては、各学校に各クラス分のカラーのチラシをつくって届けております。あとは小学校、中学校の校長会のほうでお知らせしています。以上です。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

私からは中学生の部のところで応募点数が1点だったということと、それぞれ賞に該当作品がなかったというところが少し残念かと思いました。ただ中学生は部活だとか、さまざまなことで小学生よりは時間に余裕がないと言ってしまうと、それで何でも済まされてしまいます。ただ昨年に比べ小学校のほうも応募数上がり、旭ヶ丘小学校から39点の応募があったということは、保護者や児童だけではなくて何らかの形で指導する先生のほうから声掛けがあったのではないかと思います。そこを中学生に対しても、生徒に担任の先生なり、担当の先生から声掛けをしていただいて、応募するきっかけがあればいいと思います。図書館には多分中学生はたくさん足を運んでいると思いますし、特に3年生になってからかもしれません。夏休みに図書館に足を運んでいる中学生は多いと思いますので、こういう調べる学習コンクールにもたくさん応募してほしいと思います。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

はい、ありがとうございました。私も先ほどの築瀬委員からの質問の答えとして、吉野元君はJAMSTE Cのほうまで自分で質問を投げかけている、そこまで進んでいっているということはすごいと、まず一つ思っただけでした。やはり私もこのクエスチョンマークの付くところです。何回も言うように「なぜ力、とは力」やはりここを育てて、それはおそらく社会に出てからも、この変化の激しい社会の中で自ら疑問を持って解決していく、それが問われてくると思うので、やはり小学校、中学校の段階でも疑問を持って、それに対して取り組んでいくということを大事にしてほしいと思って先ほどの話も聞いておりました。例えば吉野君にしても、それがきっかけで、あるいは将来世界的なとか、あるいは日本を代表する研究機関に入っていかもわかりませんので、そのような期待を持ちながら、「なぜ力、とは力」ここを大事にしていきたいと思って先ほどの話を伺いました。

もう一点、武輪委員と同じなのですが、そういう思いからするとやはりもう少し小学校、特に中学生への周知方法を考えていただいて、ここをもう少し吸い上げていただければと。全部これを学校現場へ投げかけていくと、学校現場も大変かと思えます。その辺をうまく配慮しながら、考慮していただきながら、もう少し中学生の応募件数が増えるように、そのような働きかけをしていただければありがたいと思います。以上です。

(油川教育委員会委員)

いま別の委員がお話くださったことであるのですけれども、とても良い事業だと思いますので、中学生がもう少し参加して、これをきっかけに図書館の魅力というものを改めて感じてもらえたらと思います。例えばなのですが、周知の仕方、学校を通して生徒にチラシを配ったということです。これは私の例えのお話で、このようにお願いしますということではないです。前回の定例会のときにもお話させていただきましたけれども、三条中学校の技術家庭の授業の一環で幼稚園の子どもたち、三歳児の子どもたちを招いて、触れ合いを楽しむという授業がありました。そのときにお土産として子どもたちが手作りの絵本を

1冊ずついただきました。その手作りの絵本というものは、夏休みの間生徒が作る宿題だったようなのですけれども、その1冊1冊がどの本を見ても文章も素晴らしく、絵もとても温かいもので、私どもの園児だけに見せるのはもったいないと思うほどのとても素晴らしい絵本でした。例えばこのように、中学生が書いた絵本を期間限定で図書館に設置するなどすると、中学生は自分が書いた絵本を子どもたちが読んでくれていると、そういうところからまた図書館に対して一歩足を踏み入れて、そこから応募数が増えていて、そして読書習慣につながられるということもあるかと思いました。

あと一点なのですがすけれども、ここに小学生の部と中学生の部があるのですがすけれども、例えば5歳児、幼児の部というものがあるとするれば、幼児が図書館で借りて読んでもらった絵本について、絵を描いて表現するとか、それを歌にするとか、折り紙で表現するとか、その表現の仕方はいろいろ子どもによってだと思えるのです。そういった形で自由に作品にしてもらおうということも1つ、幼児も参加させていただけるコンクールかとも思いました。図書館が人を育てますし、人もまた図書館を育てるという好ましい連鎖的な流れというのでしょうか、そういうものが円滑になっていくと、どんどん良い方向になって、地域全体の教育力が高まるのかと思いました。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

参考のご意見をいただきました。

報 告 「その他「インターネットトラブル防止」に向けた3つの提言について」

(齋藤教育部次長 説明)

(大庭教育委員会委員長)

今説明いただきました。委員からのアドバイスというものは、今これをいただいたばかりですので、後ほどあればお届けするということによろしいわけですね。

(齋藤教育部次長)

はい。

(油川教育委員会委員)

これは学校を通して保護者の方に配付ということになりますでしょうか。

(齋藤教育部次長)

はい、そうですね。

(油川教育委員会委員)

その際にこの1枚のこれは、皆さんの心と体を守るためのとても大事なものであるという何かしらそういったことも付け加えながら、先生方からお配りいただければと思います。

(齋藤教育部次長)

少しそこを補足させてください。年内にというようになぜ急ぐかということ、今12月に入ると各学校で保護者の参観日があるのです。その参観日の機会に、校長先生自ら保護者の方に説明をして、活用していただきたいということを見据えた上で何とか年内にと。

もう一つの理由は、やはり携帯電話やスマホ、ゲーム機類を買うのは正月明けのお年玉で買う機会がすごく多いということで、それまでに何とか間に合わせたいなど、さまざまそういう理由があって、何とか年内には各学校には行き渡らせたいと思います。

(大庭教育委員会委員長)

インターネットに関わるトラブル、これは全国的に非常に増えているわけで、それに関して学校と保護者と一体となって、まず第一歩を踏み出そうという一つの試みであるということです。私はやはりこれは大事なことだと感じています。前にどこかでお話したのですが、高校生の場合、特に保護者とのルール作りができない状態で、高校に入学したからお祝いで買ってもらう。そこでは保護者が何をしようか、あるいはフィルタリングの話をしようか、もう子どもは買ってもらえる約束だと手に入れてしまう。そうすると実態としては、結局四六時中離せなくなってしまう。食事のときも脇に置く、寝るときも布団に持ち込む。親とそういう話になると、ルール作りがされておきませんので、喧嘩になってしまう。そういう状況で、やはり高校生を見ていますと、かなりこれに振り回されてしまっているという状況があります。中学生段階でこういう取り組みをしていただいて、ただただ規制するのではなくて、やはり保護者と子どもがルール作りをしていく。そして持たせて、高校での生活に入っていけば、中学校でも今はいろいろトラブルが起こっているのしょうけれども、このような取り組みをしていくことによって、そこでのより深いトラブルになることを避けられると思っております。以上、感想です。

報 告 「その他 八戸市いじめ防止基本方針(案)へのパブリックコメント実施について」

(木村教育指導課長 説明)

その他

(大庭教育委員会委員長)

それでは最後にその他になりますけれども、委員の皆さんから何かありましたらお願いいたします。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

一つご質問と、あと二つは嬉しいお話をしたいと思います。

一つ目の質問ですが、来月12月に中学校のスケート、アイスホッケー大会というものが八戸で開かれると思います。こちらには八戸市教育委員会として何かしら関わりがあるのか。特に今のところ予定がないのかということをお聞きしたいと思います。

(学校教育課 沼上指導主事)

学校教育課の沼上です。東北アイスホッケー競技大会ですけれども、市教委としては後援と、教育長が副大会長の委嘱を受けておりますので、副大会長として23日の開会式には出席という予定になっております。以上です。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

場所とか期間はもう決定してありますか。

(学校教育課 沼上指導主事)

決定しております。場所はテクノルアイスパーク八戸が会場になります。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

アイスホッケーの会場ですか。

(学校教育課 沼上指導主事)

はい。23日開会式、23、24の予定で行われることになっております。

(武輪教育委員会委員長職務代行者)

はい、ありがとうございます。

あともう一つは12月の広報はちのへ、皆さんもご覧になったと思います。本のまち八戸ということで、ブックスタートのとても良い写真が掲載されて良かったということが1点。

それからもう一つは、昨日の新聞にも報道されたのですが、芸術の秋ということで、ガラコンサートが大きく載っていたことと、その前のページに劇団やませの「漁火見える丘ありて」ということで、若き日の三浦哲郎ということで公演がありました。こちらは両方とも地元、ガラコンサートのほうは松井慶太さん。八戸市出身の方が指揮をされて、大変素晴らしかったということ。

それからこちらにも三浦哲郎さんを描いて、その主演として演じた具森翔馬本人も、この三浦哲郎さんと同じ年、ちょうど19歳から20歳にかけて白銀中学校で教員をしていたころのお話でした。演じた本人もちょうど誕生日を迎えて20歳になった青年なのですが、こちらは今20歳なので、ついこの間の5年前まで中学生であり、八戸市内の高校に通っている高校生2人も演じておりました。この3人の若い子たちが一生懸命演じているのが大変私は嬉しくて、地元の子たちが一生懸命頑張っている。本当に高校1年生に関しては、つい3月まで市内の中学校にいたわけなので、この子たちがすごく頑張っているということを目の当たりにして非常に嬉しかったので、今日ご報告させていただきました。

もう一点、教育長、教育委員長からも周年行事のことに際してお話がありました。私も大変感動いたしました。一つお話したいのは、私たちから見える、見えるところでの感動とかいろんなことはあるのですが、児童や生徒たちには私たちから見えない部分のところでは何か苦しんでいたり、悩んでいたりしていることもたくさんあるのだろう、学校側にとっても私たちから見えない部分でご苦労されているところがたくさんあるのだろうと思いますので、その見えないところ、子どもの変容に常にアンテナを張り巡らせて、何かおかしいことがないかというところを察知して、子どもたちの手助けができればと思っております。以上です。

(大庭教育委員会委員長)

はい、ありがとうございました。私も委員長として、ここ2、3日引っ掛かっている言葉があります。何かというと、パリの同時多発テロで奥さんが犠牲になったフランスのジャーナリスト、アントワヌ・レリスさんですか。テロリストに向けてFaceBook でつぶった言葉、これがかなり共感を呼んでいるということです。その言葉についてなのですけれども、引用してきました。「決して君たちに憎しみという贈り物はあげない。君たちの望みどおりに怒りで応じることは、君たちと同じ無知に屈することになるから」。そして少し文章が続いて「私と1歳5カ月の息子は二人になった。でも世界中の軍隊よりも強い。そして君たちテロリストのために割く時間はこれ以上ない」。とにかくこれからは子どもとの時間を大事にしたいのだ、そういう思いが語られていました。その言葉の中で感じたのは、憎しみの連鎖は作らない。例えば教育の場で考えれば、暴力あるいはじめの連鎖は作らない。被害者が加害者になっていく、そういう連鎖は作らない。あるいは親の子への愛情といいますか、憎しみを持つより、今自分の子どもとの時間を大事にしたいのだという思いは、我々教育に関わる者にも共通する部分ではないかと思って、今日取り上げさせていただきました。やはり子どもたちへの心のことをうまく成長させていける教育の現場でありたいと思っています。すいません、参考までにです。

閉 会

(大庭教育委員会委員長)

これもちまして平成27年11月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(午後2時34分閉会)